

【状況】

- ・2月2日01時51分頃、小規模な噴火が発生
- ・噴煙を2000mまで観測
- ・軽井沢から南関東で降灰を観測
- ・噴火後の地震回数は減少、現在地殻変動は落ち着いている

【体制】

・ヘリ調査

- ・関東地方整備局、利根川水系砂防事務所、国土技術政策総合研究所、(独)土木研究所、群馬県、長野県、嬬恋村で2日に2回ヘリ調査を実施予定
- ・関東地方整備局は、群馬、長野両県の砂防部局のヘリ調査をサポート
 - 1回目12:00～を予定
 - 2回目13:30～を予定

・連絡体制

国土交通省、関東地方整備局、利根川水系砂防事務所、群馬県、長野県、長野原町、嬬恋村、軽井沢町、小諸市、御代田町、佐久市では、引き続き関係職員により、情報収集を実施

【対応】

- ・利根川水系砂防事務所では大型土のうの準備等、緊急減災対策を検討中
- ・浅間白根火山ルートは一時通行止め(プリンスホテル)
- ・関係市町村では、防災行政無線により住民に周知するとともに、火口から4kmの範囲について入山規制を実施
- ・国土交通省内の防災用共聴チャンネル41、43、45、47chで浅間山の映像を配信中

新規情報については、アンダーラインを記載



2月2日9:00現在の状況



2月2日01時51分過ぎ浅間山

平成21年2月2日の浅間周辺の状況

浅間山の火口周辺の規制状況(2月1日 13:00~)



参考 平成16年9月の浅間山噴火

気象庁火山活動解説資料(H16.9より)

○主な噴火

発生日時	噴火の表現	噴煙の状況(火口縁上の高さ、流向等)	空振 (Pa) ^{※1}		噴石の飛散、火山れきの降下等 ^{※2}	降灰状況 主な確認地点 ^{※2}	噴火前に観測された現象	備考
			A点	追分				
1日 20時02分	中爆発	雲のため不明。気象レーダーにより3,500~5,500mで北東に流れるエコーを観測。	S.O.	205.0	火口周辺に直径3~4mの噴石、火口の北東6km付近に3cm程度の火山れき	北東方向の群馬県嬬恋村・沼田市、福島県郡山市・相馬市等。	約29時間前から山頂直下が膨らむような傾斜変化と地震の多発。	山麓から火山雷が確認された。
14日 15時36分	小噴火	2,500mまで上がり東に流れる	0.3	—	特に確認されず	東南東方向の長野県軽井沢町、群馬県松井田町・安中市等	約14分前から地震が12回と多発	
15日 ~18日	小噴火が頻発	最高1,500mまで上がり南~南東に流れる	最大 13.2	最大 9.4	火口周辺に噴石が間欠的に飛散	南東方向の長野県軽井沢町をはじめ関東地方南部(埼玉県、東京都、神奈川県、千葉県)の一部		
23日 19時44分	中爆発	雲のため不明	S.O.	72.3	火口の北北東4km付近に3cm程度の火山れき	北~北東方向の群馬県嬬恋村・長野原町、新潟県大和町、山形県山形市・東根市等	約4時間前から山頂直下が膨らむような傾斜変化。地震の増加。	爆発地震により軽井沢町追分及び御代田町御代田で震度1を観測。
29日 12時17分	中爆発	雲のため不明	52.5	29.6	火口の北4km付近に4cm程度の火山れき	北~北東方向の群馬県嬬恋村・長野原町・草津町等	約6時間前から山頂直下が膨らむような傾斜変化	爆発地震により御代田町御代田で震度1を観測。

※1 空振は空振計で観測しており、単位は圧力を表すパスカル (Pa)。おおむね10Paを超えると身体に感じられるようになり、数百Paではガラスが割れるなどの被害を生じる可能性がある。

※2 噴石の飛散、火山れきの降下、降灰状況は、気象官署、大学等研究機関、防災関係機関及び一般からの情報に基づく。